

株式会社シード

2026年3月期第1四半期 連結決算説明会

2025年8月26日
(証券コード:7743)

まだみぬ、世界は、美しい



ご質問等のある方は、チャットまたはミュート解除してご発言ください。
アンケートの回答へもご協力をお願いいたします。
当説明会のご案内メールに、アンケートフォームのリンクを記載しております。

目次

1. 2026年3月期第1四半期 決算概要・見通し
2. 2026年3月期第1四半期 トピックス
3. 参考資料

目次

1. 2026年3月期第1四半期 決算概要・見通し
2. 2026年3月期第1四半期 トピックス
3. 参考資料

2026年3月期第1四半期 サマリー(連結)

売上高

8,547百万円

前年同期比 +3.3%

- ・乱視用と一部遠近両用の納期遅延が2025年5月に全て正常化
- ・2025年7月以降、順次価格改定となる商品の駆け込み需要が発生

売上総利益

3,848百万円

前年同期比 +2.4%

- ・2号棟別館稼働に伴う生産数増加による売上高増加が粗利益の増加に寄与したが、為替が円安で推移したことで、輸入商品の仕入価格にマイナスの影響が発生

営業利益

630百万円

前年同期比 +53.7%

- ・売上増加に伴う売上総利益の増加が影響
- ・前期は本社移転等に伴う一過性の費用が発生したことが影響

国内外のコンタクトレンズ市場状況

- 近視の低年齢化による近視人口の増加やユーザーの年齢層拡大に伴い、装用人口が増加
- 乱視用や遠近両用といったスペシャリティレンズの需要拡大や各社の値上げによる単価上昇の影響もあり、引き続き市場は拡大
- 海外においては特に東南アジアやインド等経済成長が期待される国や地域でのさらなる市場拡大が見込まれる

2026年3月期第1四半期 連結決算ハイライト

連結

[百万円]

百万円未満切捨て

	2024/3期 1Q	2025/3期 1Q	2026/3期 1Q	前年同期 増減額	前年同期比	2026/3期 通期見通し	進捗率
売上高	7,952	8,277	8,547	+269	+3.3%	37,000	23.1%
売上総利益	3,472	3,759	3,848	+88	+2.4%	—	—
(粗利率)	(43.7%)	(45.4%)	(45.0%)	—	(△0.4%)	—	—
営業利益	650	410	630	+220	+53.7%	2,000	31.5%
(営業利益率)	(8.2%)	(5.0%)	(7.4%)	—	(+2.4%)	(5.4%)	—
経常利益	709	507	608	+100	+19.8%	1,600	38.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	426	359	381	+22	+6.2%	1,100	34.6%

事業別売上高

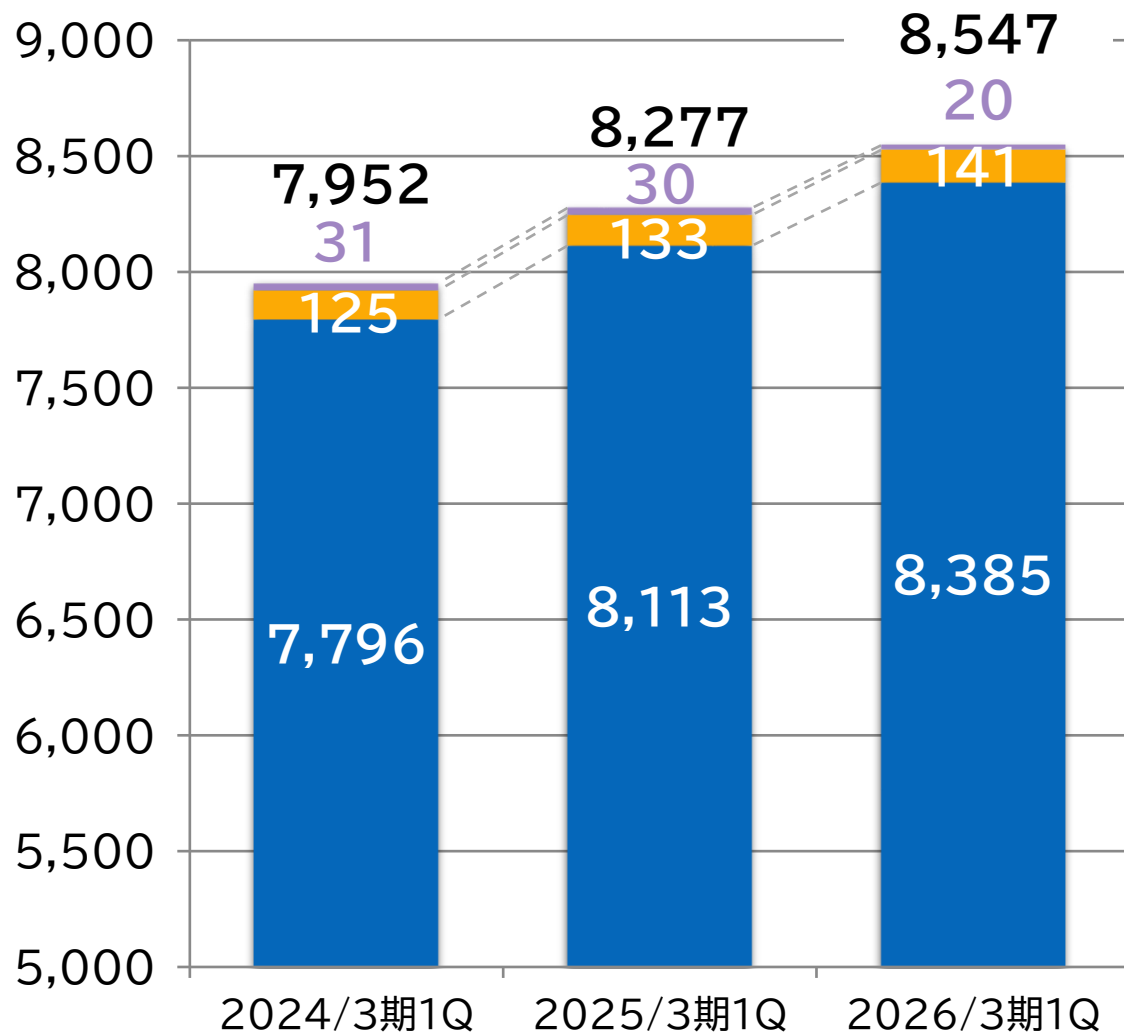
連結

[百万円]

百万円未満切捨て

※コンタクトレンズ:光学器械含む ※その他:眼内レンズ・眼鏡事業含む

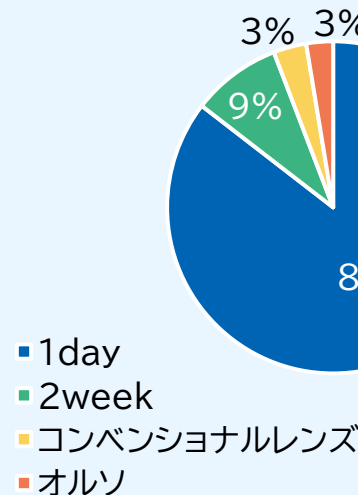
■コンタクトレンズ ■ケア用品 ■その他



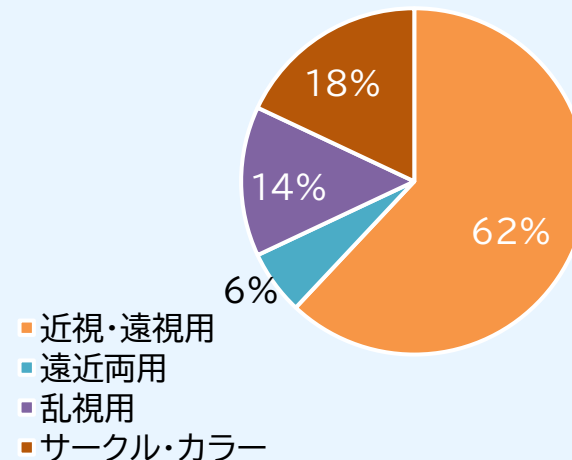
© SEED Co., Ltd. All Rights Reserved.

単体

売上高CLカテゴリー比率



売上高1dayカテゴリー比率



商品別対前年同期比(単体卸売ベース)

ワンデーピュア	5.6%増	2ウィークピュア	1.8%減
エアグレード	51.7%増	サークル・カラー	0.1%増

カテゴリー別対前年同期比(単体卸売ベース)

乱視用	16.5%増	遠近両用	21.1%増
-----	--------	------	--------

※2024年2Qより乱視用において納期遅延が発生→2025年5月28日をもって全て解消

※エアグレードは1dayと2weekの合計

※乱視用・遠近両用は使い捨てとコンベンショナル(東レ製品は除く)、カラー・サークルレンズ合計

販管費の状況

連結

[百万円]

百万円未満切捨て

2025年3月期 1Q
販管費実績

人件費

1,027

+90
(109%)

広告
宣伝費

224

+46
(121%)

研究
開発費

611

△95
(84%)

物流
関連費

531

△35
(93%)

その他

954

△138
(86%)

3,348

△131
(96%)

2026年3月期 1Q
販管費実績

1,117

270

516

496

816

3,217

- 人件費 : 人員増加・処遇改善により、前年同期比で増加
- 広告宣伝費: 国内のキャンペーン・イベントなどの広告活動の活性化や2025年3月期下期より本格的に活動を開始したコーポレートブランディング浸透に係る費用のため前年同期比で増加
- 研究開発費: スマートコンタクトレンズ開発費用、シリコンハイドロゲルをはじめとした複数の治験を進行、DDSレンズの治験費用支払いの期ズレにより前年同期比で減少
- 物流関連費: 国内の注文・発送形態の見直しおよび、海外発送の効率化により配送経費を削減、前年同期比で減少
- その他 : 前期第1四半期に一過性の費用として、本社移転に伴う費用/インフラ整備費用が発生していたが、当期は発生しないため減少

利益増減分析

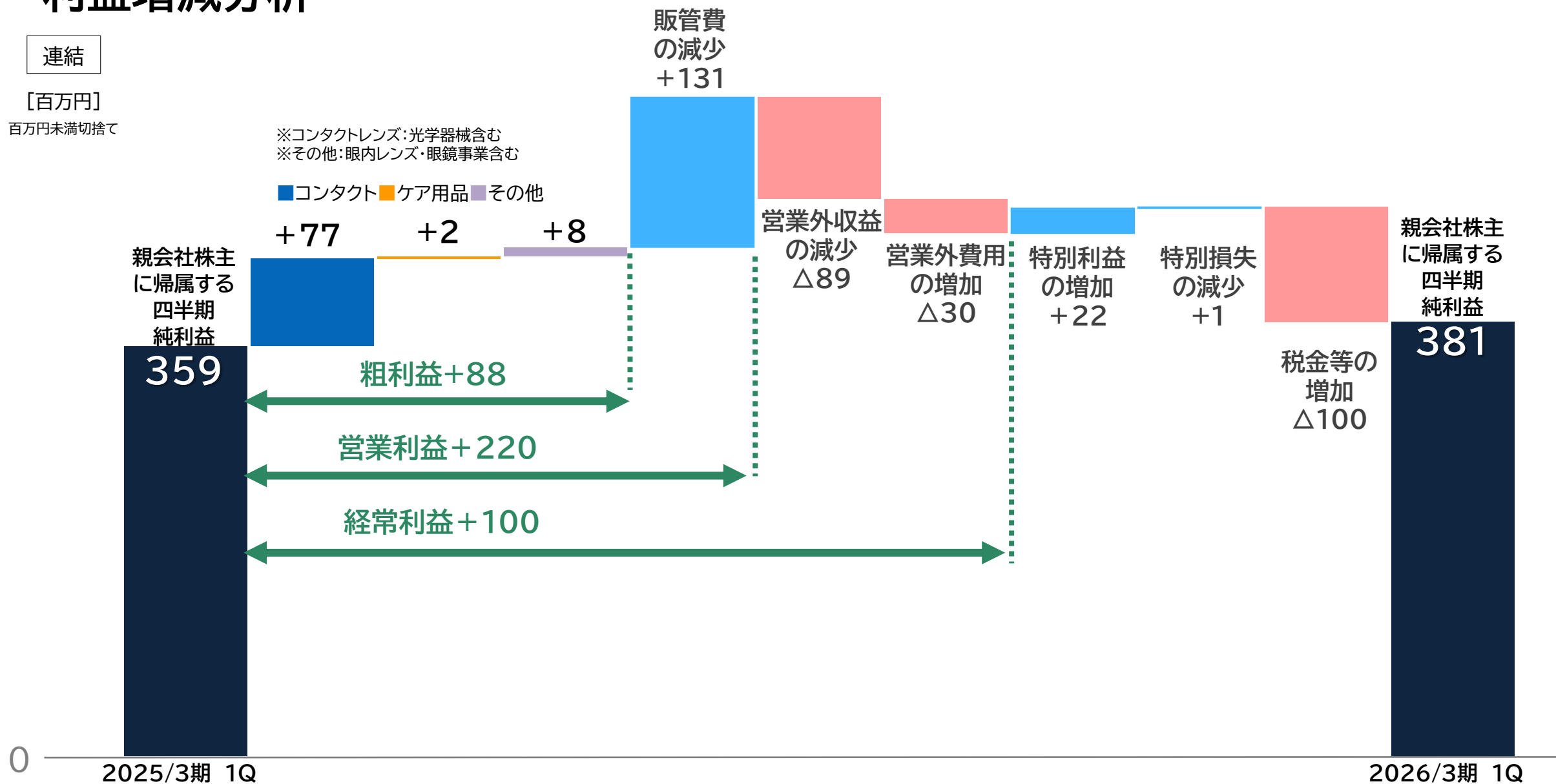
連結

[百万円]

百万円未満切捨て

※コンタクトレンズ:光学器械含む
※その他:眼内レンズ・眼鏡事業含む

■コンタクト ■ケア用品 ■その他



財務状況推移

連結

〔百万円〕

百万円未満切捨て

	2025/3月末		2026/3月末 1Q		前期比較
	金額	構成比	金額	構成比	
資産の部計	51,760	100.0	51,985	100.0	+224
流動資産	20,677	39.9	20,815	40.0	+138
内 現預金	7,116	13.7	6,105	11.7	△ 1,010
商品及び製品	5,588	10.8	6,283	12.1	+694
貸倒引当金	△ 26	△ 0.1	△ 44	△ 0.1	△ 17
固定資産	31,083	60.1	31,169	60.0	+85
内 有形固定資産	27,827	53.8	27,577	53.0	△ 249
無形固定資産	923	1.8	1,625	3.1	+702
負債の部計	33,375	64.5	33,772	65.0	+396
流動負債	18,139	35.0	19,077	36.7	+938
内 短期借入金	12,288	23.7	12,608	24.3	+319
短期リース債務	1,852	3.6	1,792	3.4	△ 60
固定負債	15,236	29.4	14,694	28.3	△ 542
内 長期借入金	6,799	13.1	6,528	12.6	△ 271
長期リース債務	5,322	10.3	5,166	9.9	△ 156
純資産の部計	18,385	35.5	18,212	35.0	△ 172
負債・純資産計	51,760	100.0	51,985	100.0	+224

Scotlens Holdings Limited
買収資金・4号棟手付金支払い

在庫状況の改善

Scotlens Holdings Limited
(英国)の株式取得や
上海幻櫻商貿有限公司(中国)の
出資比率の変更に伴い
新たな連結対象となる
のれん計上(+700百万円)

7月支払いの夏期賞与について
未払金を計上

配当金の支払いにより
利益剰余金が減少

キャッシュ・フロー | 主要項目

連結

〔百万円〕

百万円未満切捨て

	2025/3期 1Q	2026/3期 1Q	前期比較
営業活動によるC・F	947	598	△ 349
内 税金等調整前四半期純利益	506	631	+124
減価償却費	775	755	△ 19
棚卸資産の増減額(△は増加)	△122	△ 421	△ 299
投資活動によるC・F	△ 520	△ 741	△ 221
有形固定資産取得	△ 519	△ 276	+242
無形固定資産の取得	△1	△ 16	△ 15
財務活動によるC・F	△ 829	△ 970	△ 140
内 短期借入金の純増減額	450	300	△ 150
長期借入金の返済	△ 529	△ 466	+63
リース債務の返済による支出	△ 313	△ 363	△ 49
現金及び現金同等物 四半期末残高	9,423	6,058	△ 3,365

2号棟別館稼働もあり
在庫状況が改善

Scotlens Holdings Limited
(英国)の株式取得(452百万円)

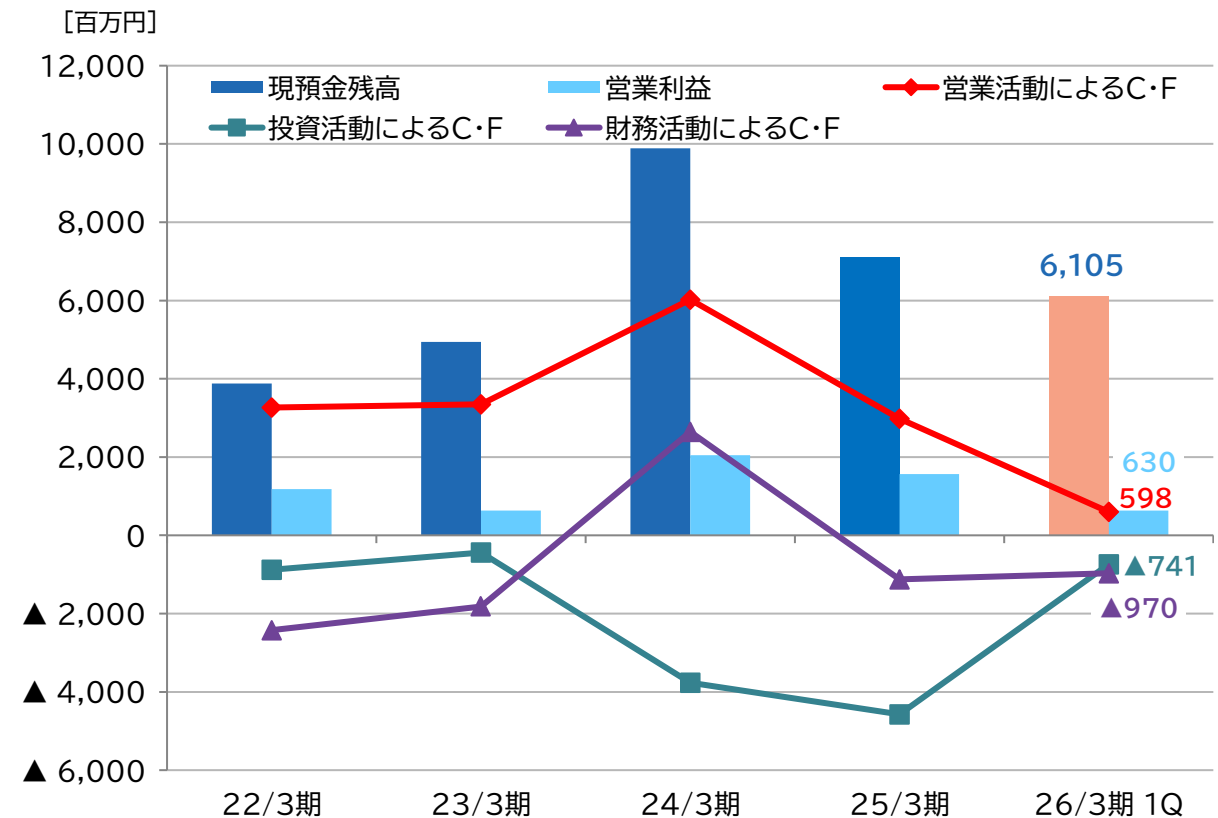
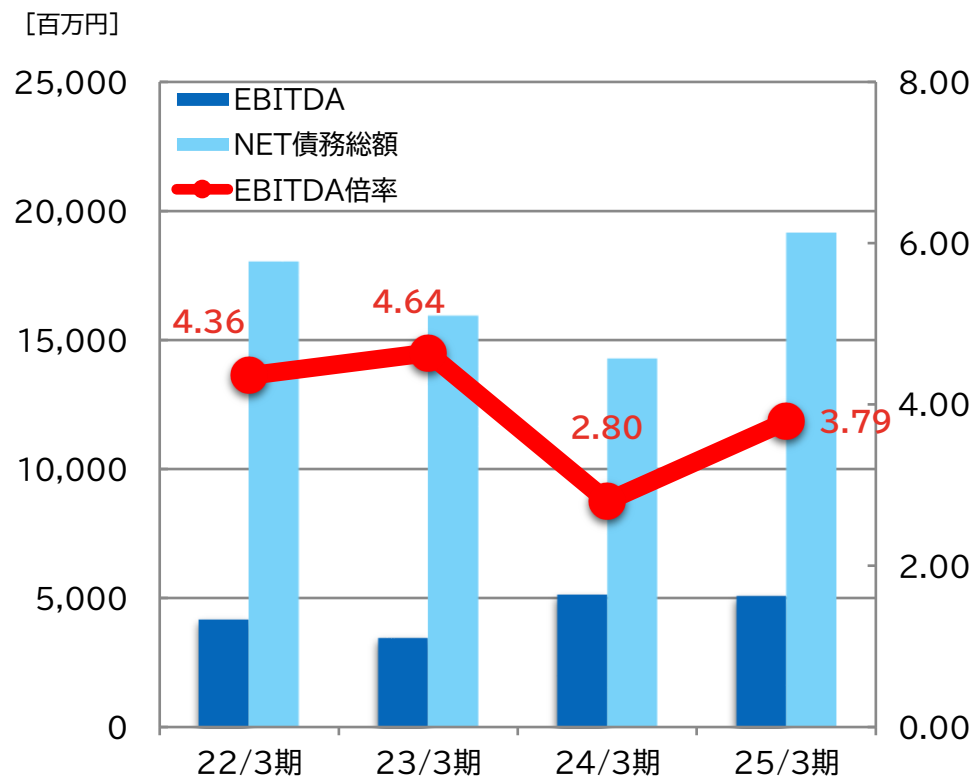
2号棟別館・4号棟手付金支払い

キャッシュ・フロー：関連指標推移

連結 [百万円] 百万円未満切捨て

	2022/3期	2023/3期	2024/3期	2025/3期
EBITDA	4,140	3,438	5,102	5,055
EBITDAマージン EBITDA÷売上高	14.4%	11.2%	15.8%	15.2%

2025/3期 1Q	2026/3期 1Q
1,370	1,478
16.6%	17.3%



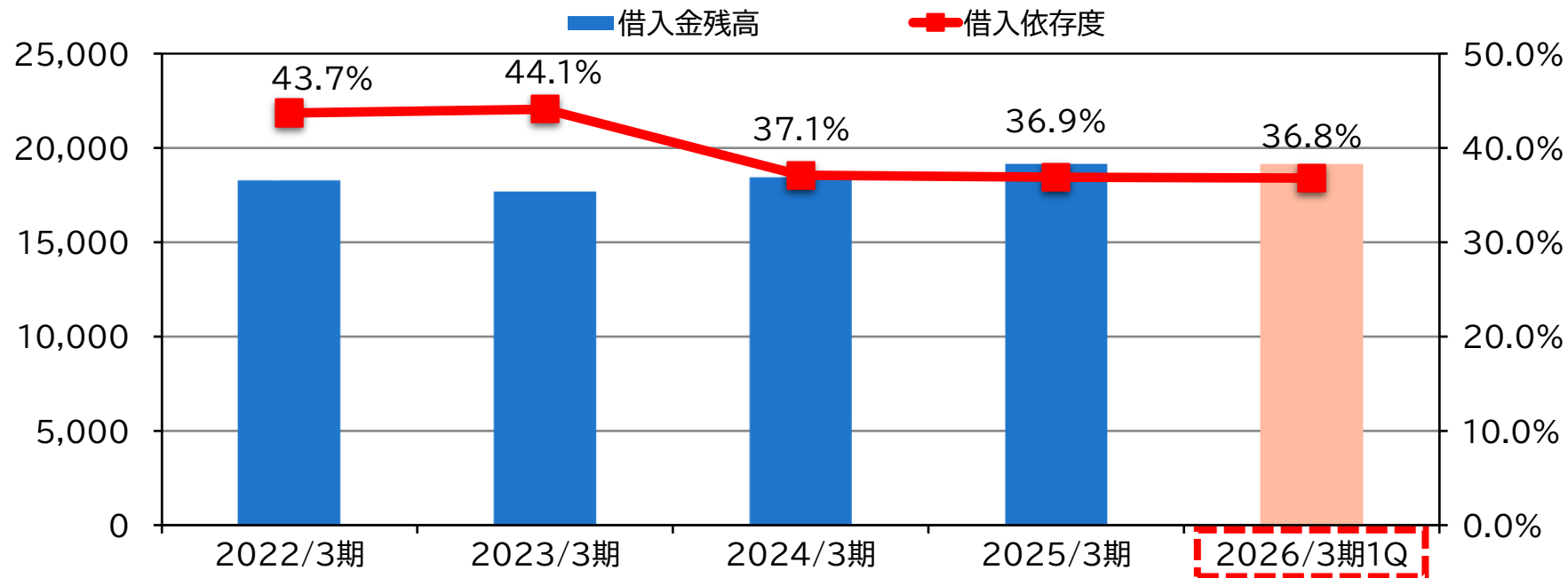
◇EBITDA=経常利益+減価償却費+のれん償却+支払利息 ※NET債務総額=有利子負債+リース債務-現預金

財務・株価指標 | 推移

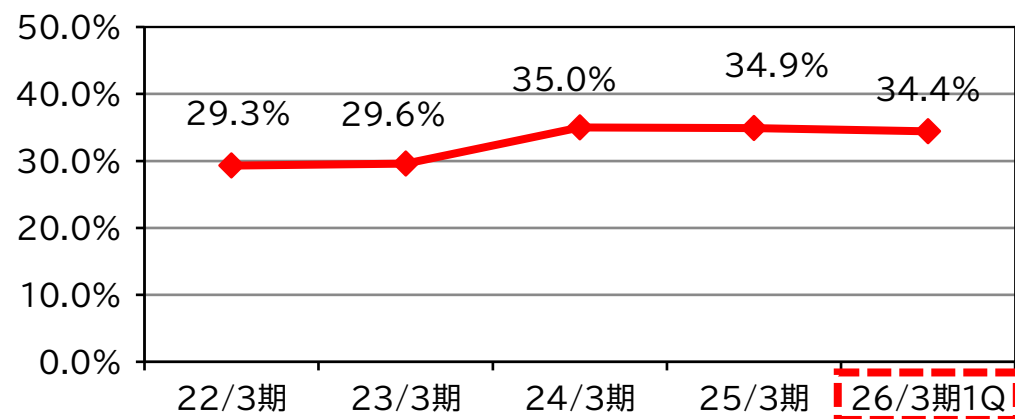
連結

[百万円]

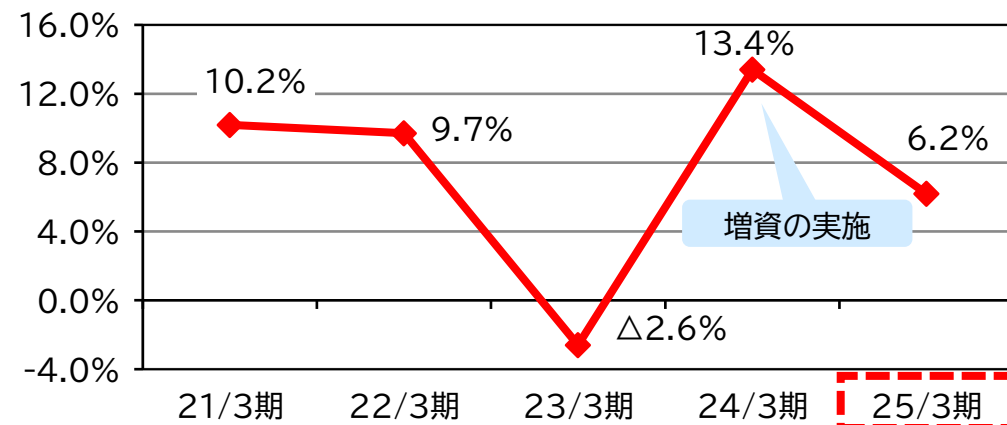
◆借入金の推移



◆自己資本比率



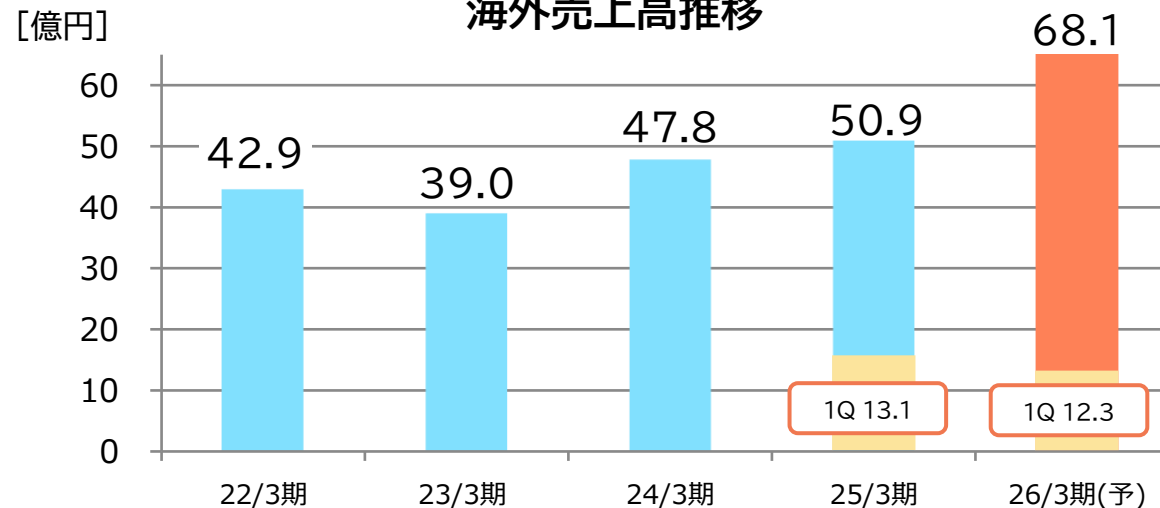
◆自己資本当期純利益率(ROE)



国際展開



海外売上高推移



主な海外商品

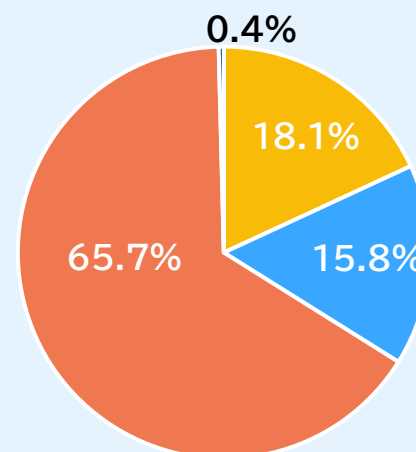
【コンタクトレンズ】



【ケア用品】



◆海外売上高構成比(2026年3月期第1四半期)



- 中国(香港・マカオを含む)
- その他アジア
- 英国・欧州
- その他

目次

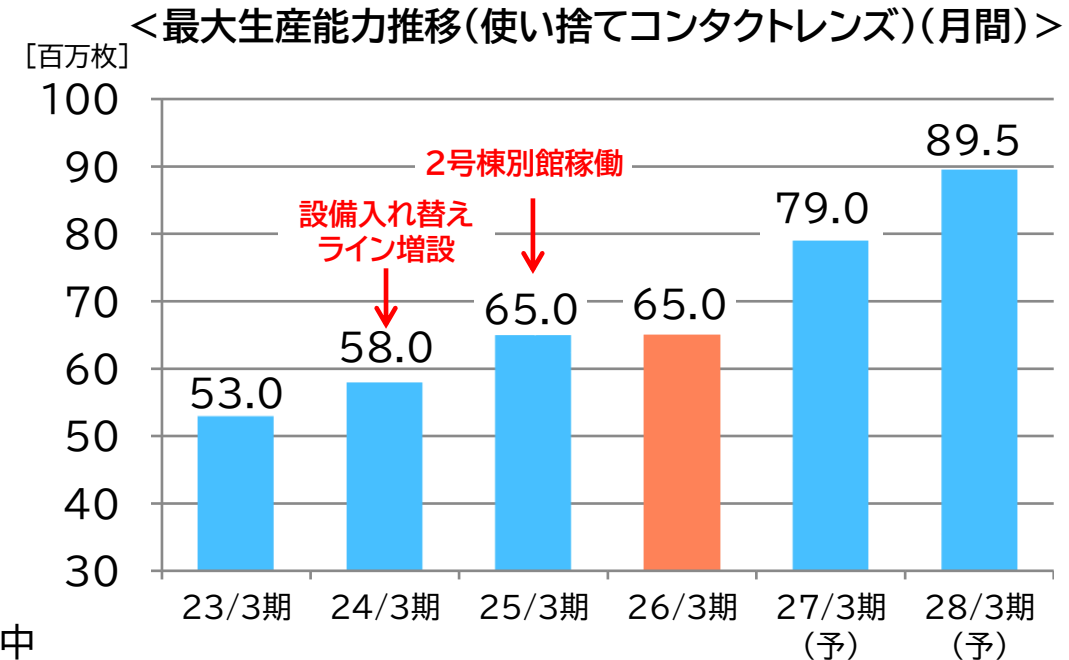
1. 2026年3月期第1四半期 決算概要
2. 2026年3月期第1四半期 トピックス
3. 参考資料

2026年3月期第1四半期トピックス 鴻巣研究所生産力の増強



鴻巣研究所全体の鳥瞰図

建設中の鴻巣研究所4号棟(6月末) 計画通り進行中



※ 使い捨てコンタクトレンズ相当生産数

時期	計画内容	最大生産能力／月※	進捗状況
2027年3月期	4号棟 第一期	6,500万枚→7,900万枚	着工:2024年11月 竣工予定:2026年1月 2026年3月より順次稼働予定
2028年3月期	4号棟 第二期	7,900万枚→8,950万枚	着工:2026年7月 稼働予定:2027年4月

4号棟第二期の完成によって、**年間最大生産能力10億74百万枚**

2026年3月期第1四半期トピックス 固定資産の取得(鴻巣研究所4号棟第二期計画)に関して

生産能力をさらに拡張することで市場の拡大を確実に捉えた成長を実現し、併せて新素材商品の導入を図ることを目的として、4号棟第二期計画の着手を決議。

第一期計画において4号棟の拡張余地とした3階部分に内装工事を実施し、製造設備を導入。生産能力向上に伴い商品の安定供給体制が整備されることから、既存設備の改造を行うことで、次世代シリコンハイドロゲルレンズ商品の上市にむけた新商品の生産ラインの立ち上げを計画。



【鴻巣研究所4号棟】完成パース図

時期	
着工予定:2026年7月 稼働開始予定:2027年4月 全ライン稼働予定:2027年10月	
生産能力	総投資予定額
1,050万枚/月	115.9 億円(予定)

2026年3月期第1四半期 新規連結子会社概要①

●SEED CONTACT LENS VIET NAM CO., LTD.

2025年4月より連結対象

2011年に製品を初出荷して以来、ベトナムにおけるコンタクトレンズの普及と安全使用の啓発活動を実施。2018年に首都のハノイに現地法人を設立し、2019年にはホーチミンにも支店を展開。



ハノイオフィス



2024年12月 ハノイ医科大学の学会に参加した際のブース

●SEED CONTACT LENS(M)SDN.BHD.

2025年4月より連結対象

2013年に現地代理店を通じて初出荷を行い、2016年に現地法人を設立。コンタクトレンズの販売にとどまらず、マレーシアにおける眼科医療の質の向上にも貢献できるよう、プロフェッショナル領域にも注力。積極的に各種研修会、セミナー、ワークショップ等を開催し、情報発信を行うとともに、現地大学と連携し、コンタクトレンズ学習を支援。



2024年10月 マレーシア国立大学と提携
コンタクトレンズ学習を支援

2026年3月期第1四半期 新規連結子会社概要②

●上海幻櫻商貿有限公司

2025年6月より連結対象

中国市場における多角化した商品ライン、多様化する消費者需要、多元化する販売ルートに迅速に対応するため、実瞳SEEDのサブブランド(Fine)として2019年7月に設立。

2023年コロナ以降は、中国国内の急激な国産化による変化に対応し、現有商品の淘汰更新を積極的に行い、市場にて戦えるコストでの現地調達に取り組む。

2025年6月、上海実瞳光学の100%子会社に吸収し、実瞳ブランドとして中国国内の販売戦略を統一化。

●Scotlens Holdings Limited Scotlens Limited

2025年4月より連結対象

スコットランドに本拠を置き、一人ひとりの目の形状に合わせてカスタマイズされた特殊レンズの分野において長い業歴と実績を持つ。オルソケラトロジーが英国やアイルランド地域においても広がりつつあることを踏まえ、より広範な特殊レンズをカバーすることを目指して、連結子会社であるCLPL 社がScotlens Limitedの持株会社であるScotlens Holdings Limitedの株式を100%取得。



2026年3月期第1四半期 オルソケラトロジーレンズ

寝ている間に視力矯正ができる
オルソケラトロジーレンズ

寝る時にレンズを装用することで角膜形状を変化させ、起床後にレンズを外して日中は裸眼で過ごすことができる治療法

視力を矯正したい人が



夜にレンズをつけて寝ると...



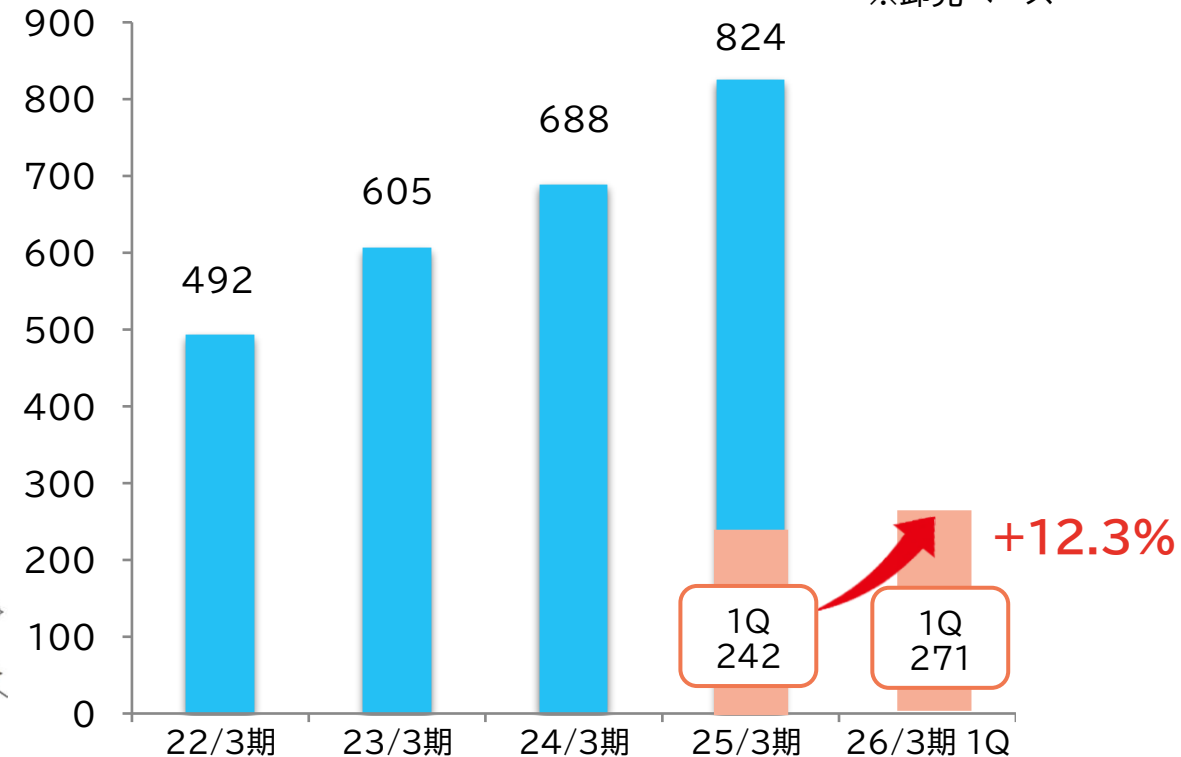
朝起きると、日中の裸眼視力が矯正される



〔百万円〕
百万円未満切捨て

オルソケラトロジーレンズ売上

※定額制を含む
※卸売ベース



国内外の状況：日本、東南アジア、香港、インド / 欧州(Wöhlk社製品を販売)販売中



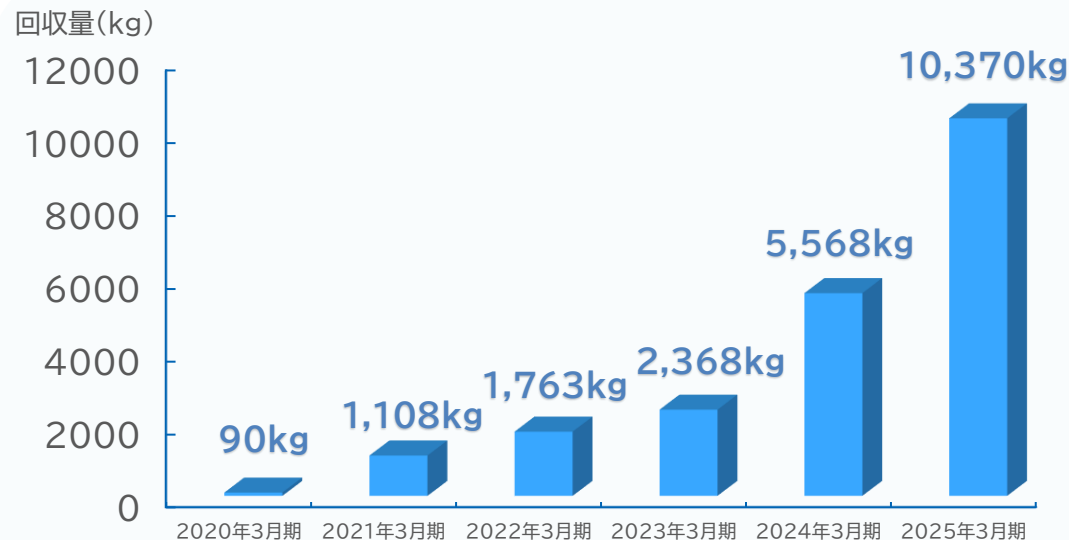
2026年3月期第1四半期 サステナビリティ・ESGの取り組み

BLUE SEED PROJECT ～海に愛（Eye）を～



▶▶使い捨てのコンタクトレンズのブリスターを回収し、資源としてリサイクルをするプロジェクト

(2025年7月29日現在)



施設名	施設数
眼科・販売店 (関連子会社を含む)	1,120施設
企業	53社
学校	11校
行政	3市町村

お客さまにお持ちいただいたブリスターはリサイクル事業者に販売し、得た収益は、海の保全活動をしている団体へ全額寄付を行っております。

2026年3月期第1四半期 今後の成長に向けた取り組み

Personalization



お客さま一人ひとりに合わせた製品の開発
乱視遠近、カスタムオルソ・スクレラルレンズ
(Scotlens)



シリコンハイドロゲルレンズ

シリコンハイドロゲルレンズの開発



国内産初の使い捨てレンズ



遠近両用



乱視用



スマホ眼用

テクニカルレンズの開発

近視進行抑制

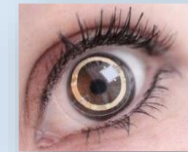


近視進行抑制分野の用途拡大を目指した治験を実施
(シード1dayPure EDOF・オルソケラトロジー)



シリコンコンタクトレンズの開発

次世代の高酸素透過レンズ開発、治験終了
早期上市に向けて準備中



スマートコンタクトレンズの開発

- ・トリガーフィッシュに続く、新たなデバイスを内蔵したスマートコンタクトレンズの開発
- ・革新的情報通信技術(Beyond 5G(6G))のNICT事業に採択
- ・コンタクトレンズへの電子部品等実装技術の標準化および、大規模集積回路開発に成功、プラットフォーム公開、当社ホームページにて特設サイト開設



新分野への進出

内視鏡フード、リング状デバイス等のコンタクトレンズの技術を生かした新たな分野への進出

次世代商品の開発

中期経営計画(2024年4月～2027年3月)

2024年1月12日開示 3ヶ年中期経営計画

2025年5月20日開示 進捗状況と今後の重点課題更新

【中期経営計画の位置付け】

- 連結売上高500億円を達成し、世界のコンタクトレンズ市場でプレゼンスを発揮するための生産基盤の確保
(売上・業容拡大の足枷となっている商品供給力の不足を補うため、積極的な設備投資を行い、世界に伍する生産能力の整備を行う)
- 省人化生産を実現し、競争力を維持できる生産体制の構築
- 更なる品質の向上をすすめ、安心安全を追求
- コーポレートブランドの再構築による企業価値の向上
- 環境経営の推進
- 人的資源の強化を通じた事業基盤の整備

生産力を抜本的に改善する3年間となっており、大幅な収益改善は4号棟完成(2027年3月期)以降となります。2号棟別館の稼動や歩留まりの着実な改善等による生産力のアップにて収益力の改善にとどまりますが、将来の成長に対するコストをこの期間にかけることにより、中長期的な当社の成長へと繋がります。

2026年3月期見通し

連結

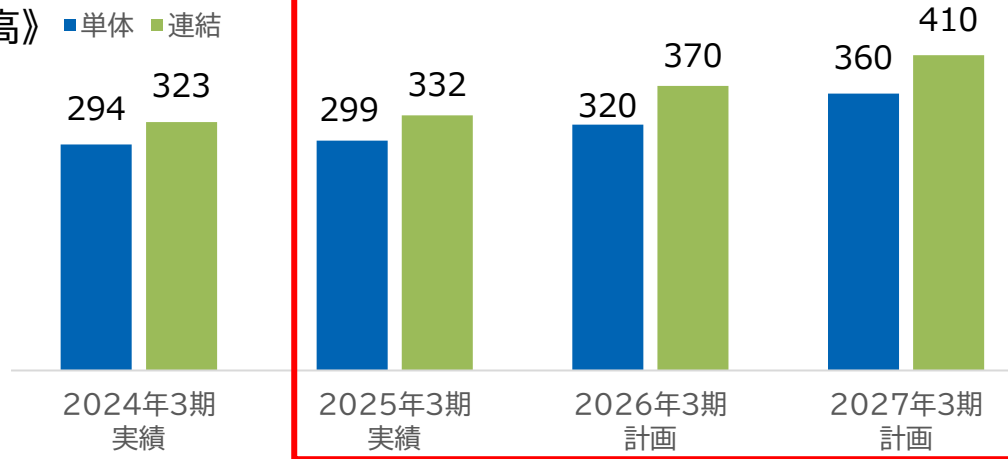
[百万円]
百万円未満切捨て

	2025年3月期	2026年3月期見通し	<参考> 前期比較	
			増減額	増減率
売上高	33,231	37,000	+3,769	+11.3%
営業利益	1,562	2,000	+438	+28.0%
(営業利益率)	4.7%	5.4%		—
経常利益	1,333	1,600	+267	+20.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,092	1,100	+8	+0.7%

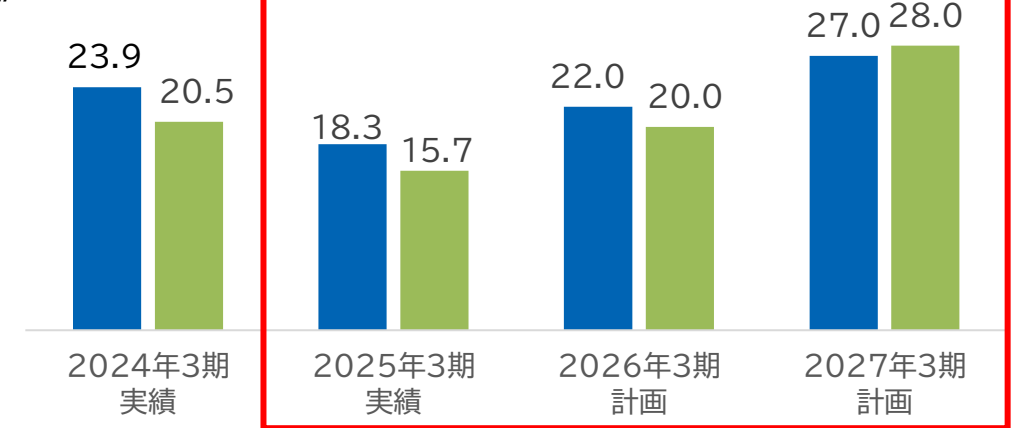
- 「シード1dayPureシリーズ」を中心として、乱視用や遠近両用コンタクトレンズ等のスペシャリティレンズの拡販に注力
- 乱視用と一部の遠近両用コンタクトレンズにおいて発生していた長期間にわたる納期遅延の影響で流出した顧客の回帰に加え、新規顧客獲得に向けた積極的な営業戦略を推し進める

中期経営計画(2024年4月～2027年3月)財務目標

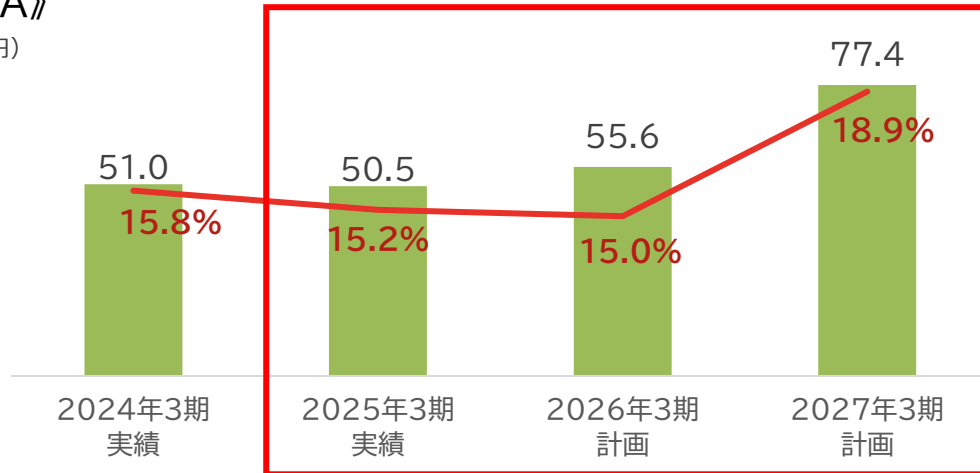
《売上高》 ■単体 ■連結



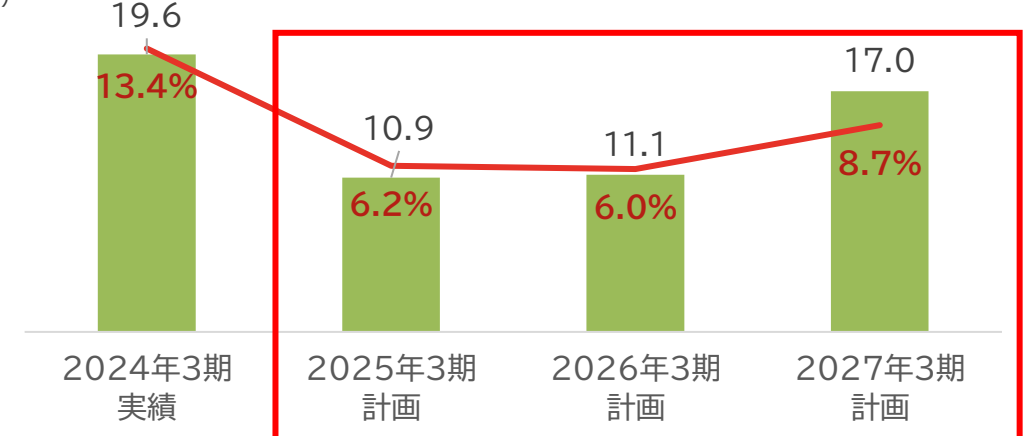
《営業利益》 ■単体 ■連結



《EBITDA》 (単位：億円) ■EBITDA ■EBITDAマージン



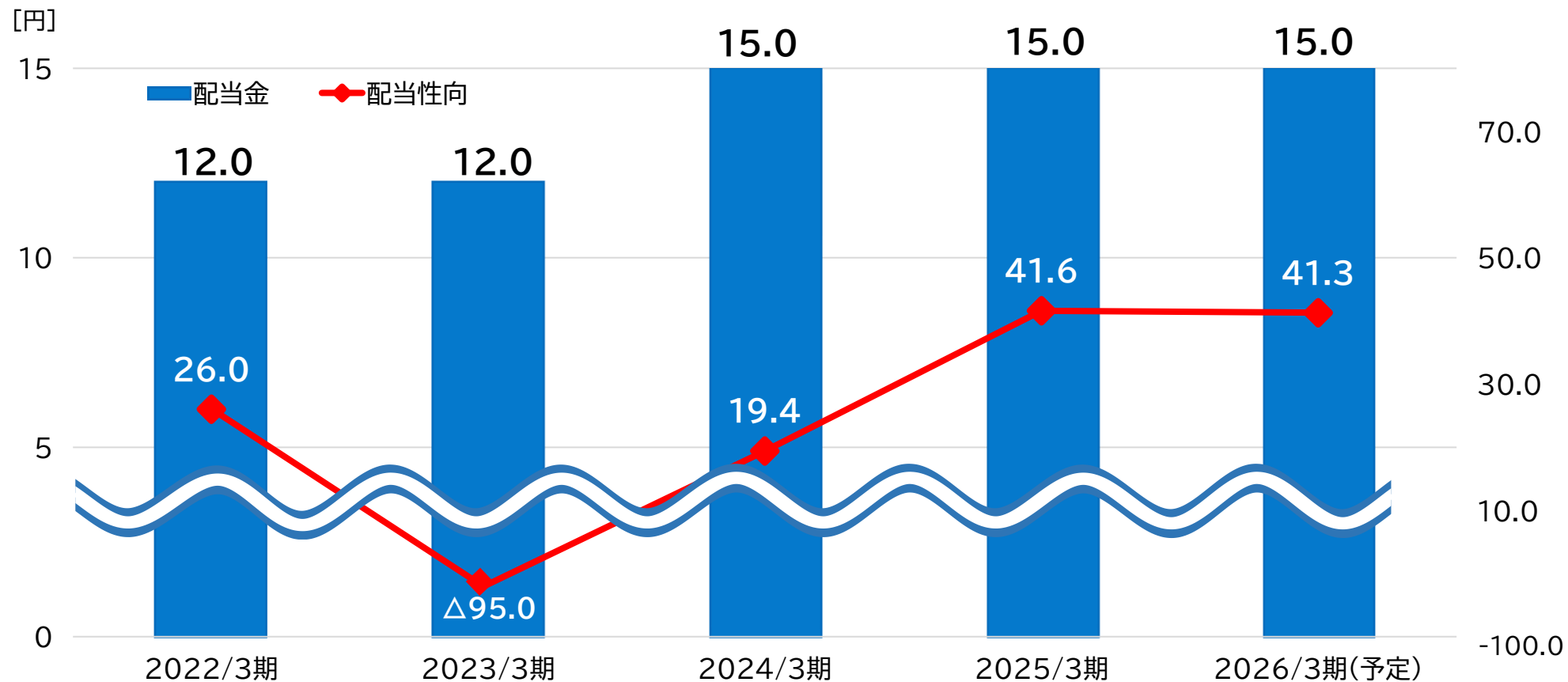
《ROE》 (単位：億円) ■親会社に帰属する当期純利益 ■ROE



- 2027年3月期は連結売上高 410億円とし、連結売上高 500億円を達成するための足場固めを行う
- 利益構造の改善を継続し、営業利益ベースでの増益を継続する
- キャッシュ創出力を強化し、EBITDA 77.4億円を目指す
- 利益効率を高め、ROE 8.7%(2027年3月期)を目指す

株主還元

適切な配当施策の実施のため、配当性向30～40%を目標とした配当の継続を目指す。



今後の成長戦略と、株主への安定的な利益還元を継続していくこと等を総合的に勘案

1株あたり年間配当金額
1株につき 15円

配当利回り: 3.2%

※2025年6月30日 株価(終値)464 円

上場維持基準への適合に向けた計画(改善期間入り)について

当社の 2025年3月31日時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は、流通株式時価総額が基準に適合していないため、現在改善期間に入っております。当社は、流通株式時価総額の基準を充たすため、作成した計画書(2025年6月24日開示)に基づき、上場維持基準への適合に向けた各種取り組みを進めてまいります。

	株主数	流通株式数	流通株式 時価総額	流通株式比率
当社の適合状況 (2025年3月31日時点)	53,049人	155,955単位	79.1億円	51.5%
プライム市場 上場維持基準	800人以上	20,000単位	100億円	35%
直近の基準日時点での適合状況	適合	適合	不適合	適合
計画期間(改善期間)	—	—	2026年3月31日 まで	—

※当社の適合状況は東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況をもとに算定を行ったものです

当社はプライム市場の上場維持基準への適合に向けて各種取り組みを進めてまいります。外部環境や市況の影響等により、計画期間内にプライム市場の上場維持基準に適合しない場合においても、投資家・株主の皆さまが当社株式を株式市場で売買する機会を確保することが重要であることを考慮し、スタンダード市場等への市場区分変更についても調査・検討してまいります。

目次

1. 2026年3月期第1四半期 決算概要
2. 2026年3月期第1四半期 トピックス
3. 参考資料

参考資料:会社概要

本社	東京都文京区本郷2-40-2
設立	1957年10月9日(昭和32年)
上場	1989年12月(平成元年12月)
証券コード	7743 東京証券取引所プライム市場
資本金	3,532百万円
従業員	1,396名(連結) ※2025年3月末現在、アルバイト・契約社員を含む
営業所	8(札幌・東京・名古屋・大阪・福岡 他)、その他駐在11(新潟・静岡 他)※2025年3月末現在
工場・研究所	シード鴻巣研究所(埼玉県鴻巣市)

●沿革

1957年10月 会社設立 商号「株東京コンタクトレンズ研究所」
 1987年2月 商号変更「株シード」
 1989年12月 社団法人日本証券業協会に株式の店頭登録
 2007年7月 鴻巣研究所竣工
 2011年1月 鴻巣研究所 ISO13485取得、CEマーキング指令適合
 2014年8月 鴻巣研究所2号棟竣工
 2016年6月 研究棟竣工

2017年 9月 鴻巣研究所3号棟竣工
 2018年4月 保育・児童施設 ふくろうの森 開園
 2020年11月 鴻巣研究所 製品・資材倉庫棟 新設
 2021年 5月 株式会社ユニバーサルビュー合併
 2024年 4月 鴻巣研究所2号棟別館竣工
 2024年 5月 シード本社ビル竣工



「東京コンタクトレンズ研究所」
当時の社屋



鴻巣研究所



保育・児童施設 ふくろうの森



本社ビル

参考資料:取扱商品

コンタクトレンズ事業

1day・2weekからハードコンタクトレンズまで、広範囲の製品展開で細分化するニーズにきめ細かく対応しています

■国産 シードPureシリーズ



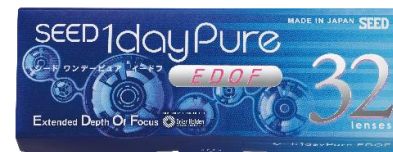
シード1dayPure
うるおいプラス



シード2weekPure
うるおいプラス



シード1dayPure
View Support



シード1dayPure
EDOF



シード1dayPure
うるおいプラス乱視用



シード2weekPure
うるおいプラス乱視用



シード1dayPure
マルチステージ



シード2weekPure
マルチステージ

Made in
Nippon



■特殊レンズ



シード 虹彩付ソフト
ユーソフト

■従来型コンタクトレンズ



ハードコンタクトレンズ
全6種7品



ソフトコンタクトレンズ
全3種

■オルソケラトロジーレンズ



ブレスオーコレクト®

■シリコーンハイドロゲルレンズ

シリコーンハイドロゲルレンズ



シード1daySilfa

参考資料:取扱商品

■サークルレンズ



シード Eye coffret 1day UV M

スマホ眼用



シード Eye coffret 1day UV M View Support

乱視用



シード Eye coffret 1day UV M TORIC

遠近両用



シード Eye coffret 1day UV M Multistage

■カラーレンズ



ヒロインメイク 1day UV M



ベルミー

■シリコンハイドロゲルレンズ

シリコンハイドロゲルレンズ



シード AirGrade 1day UV W-Moisture



シード AirGrade 2week UV W-Moisture

■シードFineシリーズ

乱視用



シード1dayFine UV plus



シード2weekFine UV plus



シード2weekFine UV plus TORIC



シードMonthlyFine UV plus

コンタクトレンズケア用品事業

コンタクトレンズを快適にお使いいただくためのケア用品を各種提供しています。



コレクトクリーン
オルソセラトロジーレンズ(ブレスオーコレクト)
酸素透過性ハードコンタクトレンズ用 タンパク洗浄液



フォレストリーフ うるおいW
ソフトコンタクトレンズ用消毒剤



ピュアティモイスト
酸素透過性ハードコンタクトレンズ用
酵素洗浄保存液



ジェルクリンW
酸素透過性ハード・
ソフトコンタクトレンズ用洗浄液

多様な人材の確保

■働きやすい職場づくり

- ・企業主導型保育園の開園
- ・在宅勤務制度
- ・フレックスタイム制
- ・育児短時間勤務の拡大(小6まで)
- ・男性育休制度の推進
- ・病児保育料補助手当の支給
- ・奨学金返還支援制度の導入

■ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンの推進

- ・外国籍社員雇用
- ・越境在宅勤務制度の採用
- ・パートナーシップ制度祝金等の LGBTQ 支援制度策定

■障がい者雇用の推進

「障害者就労施設プレミアムパートナー企業」として認定

災害対策

■自然災害、人災損害による被害の極少化への取組み

- ・BCPの恒常的な推進
- ・物流拠点の分散化
- ・災害初動対応マニュアル・事業継続活動マニュアルの作成
- ・災害時における安否確認システムの導入
- ・各事業所や全社用車への防災備品設置
- ・企業主導型保育園との防災連携
- ・災害時における一斉帰宅抑制の推進
 - ＊東京都一斉帰宅抑制推進企業に認定
- ・シードと文京区が連携し「災害時における行政手続の活動支援に関する協定」を締結

■「eye×防災」の啓発

- ・災害に対する事前の備えとして、日頃から気をつけておきたい眼の防災に関する啓発を実施

参考資料:サステナビリティ

地域・社会の課題解決に向けた取り組み

■行政との連携

- ・埼玉県鴻巣市包括協定締結
- ▶ブリスター回収活動における覚書締結(2024年4月)
- ・「BLUE SEED PROJECT」協定書締結
- ▶埼玉県三芳町・吉見町

■「SEED Projects Of Road To Sports」の活動

- ・埼玉西武ライオンズと協力し、「SEED Presentsスターティングキッズ」の企画協賛
- ・ラグビーチーム「ヤクルトレビんズ戸田」へコンタクトレンズの提供
- ・プロサッカー клуб「FC今治」への協賛、所属選手へのコンタクトレンズの提供

■出前授業の実施

- ・教育機関(小・中・高・大学他)への出前授業

■積極的な地域活動への参加

- ・子供向け工場見学、理科実験教室開催

■芙蓉・女子美Venusファンドに賛同、展示場所を提供



環境への取り組み



■環境マネジメントシステムの構築

- ・カーボンニュートラル推進
- ・プラスチックリサイクル推進

■本社建設資金についてグリーンローン調達を実施

■エネルギー利用環境負荷低減事業適応計画の認定取得

太陽光発電、エネルギー管理システム構築、水資源の再利用

■「シード1dayPureうるおいプラス96枚パック」 パッケージリニューアル

包装資材使用量の大幅カットで温室効果ガス排出量を削減

■「シードエコロジーマーク」の策定

■サーキュラーエコノミーシステムの構築

- ・BLUE SEED PROJECTによるブリスター回収・再資源化

*日本政策投資銀行「DBJ環境格付」取得
*令和3年度 彩の国埼玉環境大賞を受賞

参考資料:シードに関する情報を公式ホームページやSNSで発信

SNS

シード公式

・TVCM

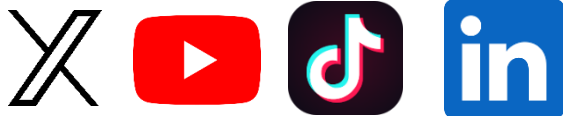
・製品説明動画

・決算説明会、株主総会、IRイベント

・IR動画

・CSR活動(理科実験教室)

・イベントの告知



【商品アカウント】

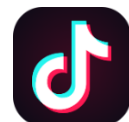
シード1dayPure View Support



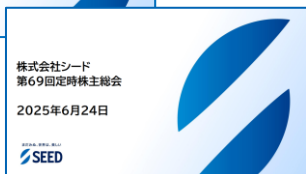
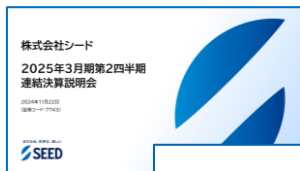
シード Eye coffret 1day UV M



ベルミー



当社HP



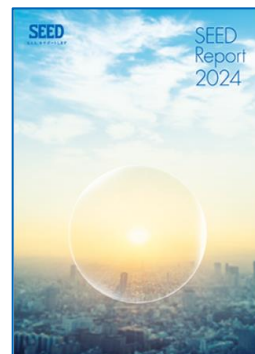
決算説明会・株主総会資料



中期経営計画説明会資料



IRレポート



統合報告書

その他

企業と個人株主・投資家をつなぐ

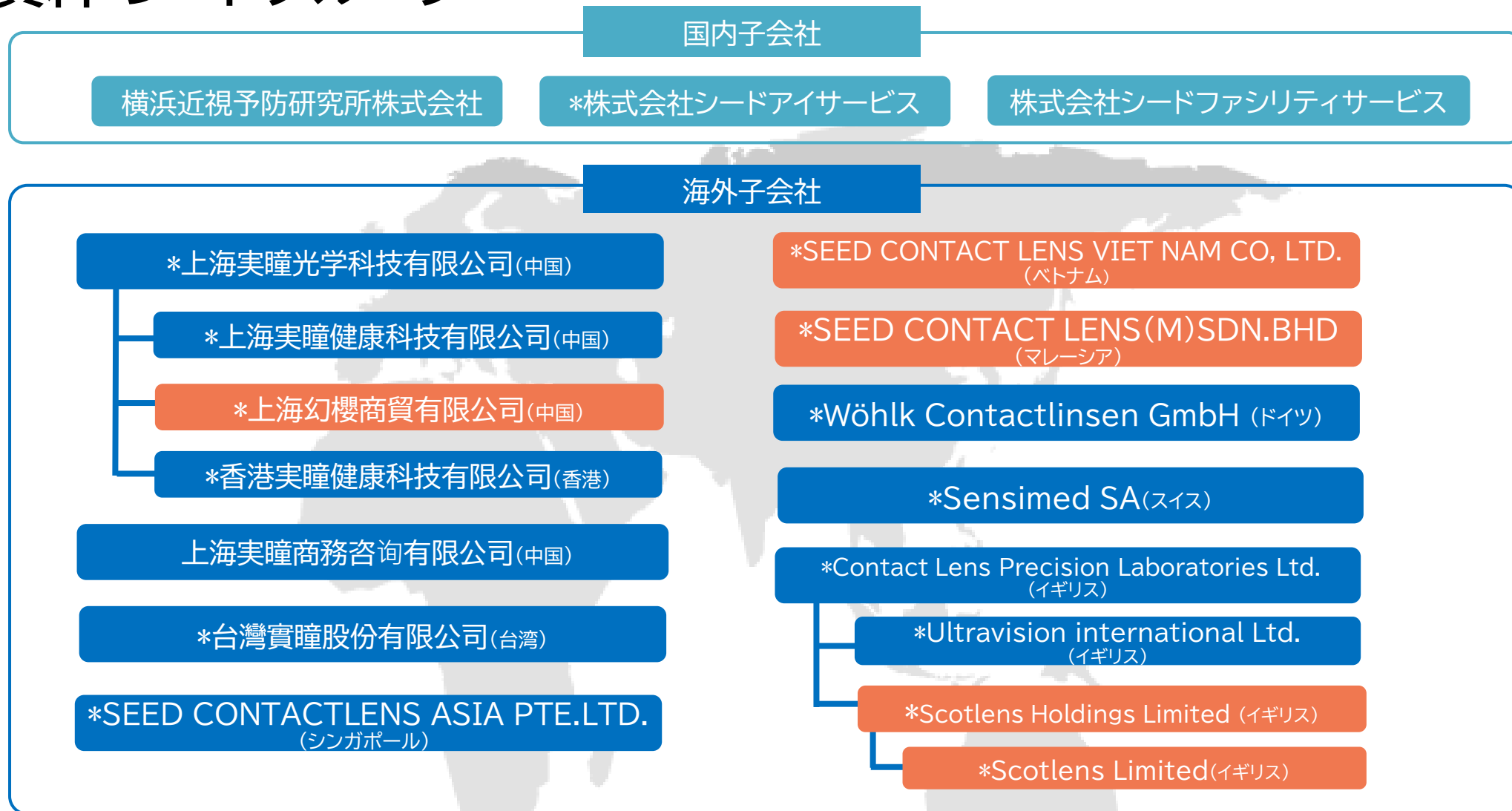


2022年6月20日(月)より、
個人株主・投資家向けサービス「Sharebee」にてIRに関する情報・重要連絡をHPのIRサイトの掲載に加えて配信しております。

<https://sharebee.jp/>



参考資料:シードグループ



- ・Scotlens Holdings LimitedおよびScotlens Limitedは4月にContact Lens Precision Laboratories Ltd.の子会社となっております
- ・上海幻櫻商貿有限公司は出資比率の見直しにより6月に上海実瞳光学科技有限公司の100%子会社となっております
- ・SEED CONTACT LENS(M)SDN.BHD・SEED CONTACT LENS VIET NAM CO, LTD.: 4月より連結対象範囲となっております
- ・SEED Contact Lens Europe GmbHは5月に清算手続きが完了し消滅したため、除外しております

※2025年6月現在
*:連結子会社

まだみぬ、世界は、美しい



本資料に関するお問い合わせ

株式会社シード 経営企画部

TEL 03-3813-1650

またはホームページお問い合わせフォーム

<https://www.seed.co.jp/contact/>

当資料の見込みに関しては、現時点において入手可能な情報及び当社の計画・戦略に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の経済情勢・業界動向等、様々な要因により異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

本資料の見通しや目標数値等に全面的に依存しての投資判断により生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。